

平成 23 年 10 月 24 日 (月) ~ 28 日 (金)



天津市友好協力促進覚書調印



吳江市經濟分野合意書調印

千葉市

総務局市長公室国際交流課
経済農政局経済部経済企画課

1 訪問目的・概要

今回の公式訪問の最大の目的は、友好都市提携 25 周年の天津市と 15 周年の呉江市との友好親善交流を更に深めていくことを確認するとともに、両友好都市との経済交流を推進し、市内企業の両市への進出、両市からの企業誘致などにより、本市経済の活性化を図ることである。

市内企業の経営状況が厳しい中、海外市場に販路拡大を求め、アジアの中でも特に隣国である中国への関心が高いこともあり、この訪問を機に長年にわたり築き上げた友好都市関係を活かし、経済交流事業を進めようとするものである。

また、千葉市の経済界を代表する千葉商工会議所が団員として参加し、ともに両都市との経済分野における交流の足がかりとすることができた。

天津市、呉江市の両市において、トップセールスによる本市の国際経済交流の取り組み、企業誘致、観光PR等のプレゼンテーションを行い、経済分野における協力・交流を発展させるための合意文書に調印したことにより、相互の企業進出支援、観光客誘致に本格的に取り組んでいく。

2 天津市及び呉江市の概要

○天津市：北京、上海、重慶と並ぶ中国の4つの直轄市の1つ。

〈人口〉 1,115 万人

〈面積〉 1 万 2 千平方キロメートル

首都北京の東南 140 キロメートルに位置し、東は渤海湾に面し、華北地方最大の貿易港である天津港を有する港湾都市。中国北部沿岸地域の経済、商業、工業の中心地として急激な経済発展を遂げている。友好都市提携は、1986 年（昭和 61 年）5 月 7 日。

○呉江市：江蘇省蘇州市に位置する県級市

〈人口〉 80 万人

〈面積〉 1,176 平方キロメートル

上海市の西方約 80 キロメートル、長江デルタ地帯に位置し、太湖の水産物とシルク生産で知られる。近年は、工業団地として急激な経済成長を続けている。

友好都市提携は、1996 年（平成 8 年）10 月 10 日。



3 日 程 平成 23 年 10 月 24 日 (月) から 28 日 (金) まで (5 日間)

| 日 付 | 時刻 | 場所等 | スケジュール |
|-----------|----------|-----------------------|--|
| 10月24日(月) | 午前 午後 | 成田空港 上海浦東空港 呉江市 | 上海へ出発 到着・呉江市へ ○呉江市共産党委員会書記、市長、人民代表大会常任委員会主任表敬訪問 ○友好都市提携 15 周年「 双方の経済分野における友好交流に関する合意書 」調印 |
| 10月25日(火) | 終日 | 呉江市 | ○呉江市経済技術開発区視察 ・日立光電有限公司訪問 ○呉江市都市計画館視察 ○呉江市博物館視察 ○千葉市長による観光プレゼンテーション ○呉江市案内による視察 ・同里鎮（世界遺産） |
| 10月26日(水) | 午前 午後 | 呉江市 上海虹橋空港 天津空港 | ○呉江市汾湖経済開発区視察 上海虹橋空港へ 天津へ出発 到着・天津市内へ ○天津市長表敬訪問 ○友好都市提携 25 周年「 友好協力を促進するに係る覚書 」調印 |
| 10月27日(木) | 終日 | 天津市 | ○天津市都市計画館視察 ○濱海新区視察 ・天津経済技術開発区（TEDA） ・イオンモール天津 TEDA 店 ・濱海新区港湾等 ○千葉市長による国際経済、企業誘致プレゼンテーション |
| 10月28日(金) | 午前 午後 | 天津市 北京首都空港 成田空港 | ○天津市人民代表大会常務委員会主任表敬訪問 ○天津市西青経済技術開発区訪問 ・本市内企業の現地法人 北京首都空港へ 到着・成田空港へ出発 到着、解散 |

4 公式訪問団

(1) 千葉市 7名

団長 熊谷俊人市長、副団長 小川智之市議会議長 ほか5名

(2) 千葉商工会議所 5名

副団長 金綱一男副会頭、岩網敏雄副会頭、越部圓国際委員会委員長
ほか2名

5 訪問日程の概略

【第1日目】 10月24日(月)

午前 ○成田空港発 上海浦東空港到着

・呉江市職員に出迎えられ、呉江市へ向かう。

午後 ○呉江市到着

＜呉江市表敬訪問＞

徐明共産党委員会書記、梁一波代理市長、範建坤人民代表大会常任委員会主任
徐書記と意見交換を行い、これまでの15年にわたる友好親善交流に加え、経済分野においてもより強固な交流を行っていくことを確認した。

なお、徐書記は元市長。市長時代に千葉市を訪問されている。

＜「双方の経済分野における友好交流に関する合意書」調印＞

友好都市提携以来、周年事業において文書を取り交わしていなかったが、今回から特に経済分野においての交流を活発化させることを目的として、上記の合意書に署名し、本格的に経済交流を推進することとした。



呉江市経済分野合意書調印式
調印は、梁代理市長



徐明呉江市人民代表大会常務委員会書記
表敬訪問

こののち、呉江市による歓迎レセプションが市役所内にある職員用食堂で行われた。(昼は職員の食堂であるが、迎賓館のような立派な作りであり、来賓を

もてなすレセプション会場として利用されている。)

呉江市側からは、徐書記、梁代理市長、範人民代表大会常任委員会主任（市議会議長にあたる）他、外事弁公室、経済分野、観光分野等の幹部計15名で訪問団を大歓迎いただいた。地元の食材をふんだんに使った料理には、この地方の豊かな食文化が表れている。

短い時間ではあったが、経済を始め、さまざまな分野における活発な意見交換を行った。

【第2日目】 10月25日（火）

午前 ○呉江市内視察

＜経済技術開発区内・日立光電有限公司視察＞

・当開発区は、1993年に江蘇省人民政府の承認を受け、2003年には、省委員会、省政府より国家級経済開発区と同等のレベルとして認可された。

上海に近いうえ、高速道路網が発達し、交通の便もよく、地理的に恵まれている。主な産業は電子情報機器、機械、電化製品等製造業、印刷、ホテル、物流、アウトソーシング、不動産業等である。企業数は500社以上。

- ・長江デルタ地域として急激な経済成長を遂げている。
- ・日系企業数 82社（2009年現在）



工場内の視察

当該企業は、茂原市の株式会社日立ディスプレイズと台湾の敦吉科株式会社との合併企業である。

主な製品はCCFL（冷陰極蛍光管：液晶バックライト用の光源として用いられる。）。

国際的に戦うには、やはり中国での生産が必要であり、呉江市への進出は、台湾のパートナーによる要因が大きい。しかし、安心して進出するには、政府からの助成（2免3減：2年間の税の免除、次の3年間は税を減免する）や開発区内でのネットワークが重要とのこと。

＜都市計画館視察＞



呉江市の都市計画について、パネルやジオラマを多用した展示形式がとられている。

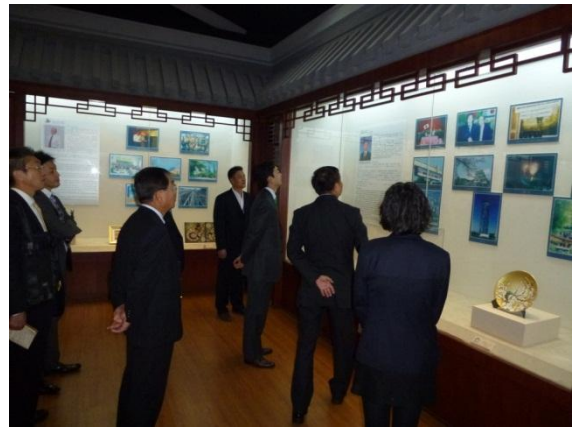
産業の集積状況、建物高さ、水路の位置などが確認でき、計画の全体像が誰でも一目でわかりやすい。

都市計画館のジオラマ

＜呉江市博物館視察＞

友好都市に関するパネルや記念品などを紹介するコーナーを視察。

千葉都市モノレールやポートタワーの写真、千葉市が贈呈した記念品が美しく飾られており、友好都市に対する思いが表れていた。



友好都市展示スペースの千葉市コーナー

午後 ○千葉市長による呉江市観光関係者へのプレゼンテーション

＜呉江市のみなさまへ 千葉の魅力＞

呉江市からの観光客を千葉市へ誘致するため、呉江市の幹部や観光関係企業に向けて千葉県の観光資源を含めた広域での千葉の魅力を発信。千葉市の概況、観光の魅力、また2つの国際空港からアクセスができ、千葉県全体の観光拠点としての優位性をPR。

これまで千葉市長が呉江市でプレゼンテーションを行ったのは初めてのことで、みなさんは熱心に耳を傾けていた。

また、プレゼン終了後には、観光農園への関心が寄せられるなど、双方での観光交流を推進していこうとの意見をいただいた。



市長のトップセールスによる千葉の魅力
プレゼンテーション

○呉江市内視察

＜世界遺産 同里鎮＞

東洋のベニスといわれる同里鎮。明清時代の古い町で、蘇州の観光スポット。蘇州古典庭園の傑作「退思園」は2000年に世界遺産に登録。映画撮影にも使われている。中国ベスト100の観光地の中で第10位の観光客数を誇る。両市間の観光交流を積極的に進める上で、重要な観光ポイントとなる。



古い街並みを運河から

【第3日目】 10月26日（水）

午前 ○呉江市汾湖経済開発区視察

＜汾湖経済開発区＞

2006年に開発が始まった経済開発区であり、上海から車で40分の距離にあり、地理的に優位性を持つ。

商業・サービス、文化、オフィス、集合住宅など総合的な開発区であり、水辺を生かしたデザイン設計となっている。

- ・上海に最も近い開発区のプロジェクト。
- ・幹線道路が整備され、交通の便がよい。
- ・多くの大企業が進出している。（日産、トヨタ、三菱商事、丸紅、フォルクスワーゲン、ネスレ、ハイネケン他）
- ・すでに工業団地は分譲済み。
- ・住環境も整い、エコを重視した街作りを進め、上海にも至近距離で快適な生活ができる。ただし、土地の価格は上海に近いため、かなり高めとのこと。



水路に囲まれた経済開発区

開発区内の高層住宅建築現場を視察、その後上海虹橋空港へ向かう。

午後 ○上海虹橋空港発 天津空港到着

- ・天津市職員に出迎えられ、天津市へ向かう。

＜天津市長表敬訪問＞

豪華な造りの迎賓館において、黄興国天津市長他17名もの市の幹部の方々に出迎えられ、市長を表敬訪問。

25年間という長きに渡る友好交流をお互いに振り返るとともに、今後、特に経済分野に積極的に取り組むことを確認した。

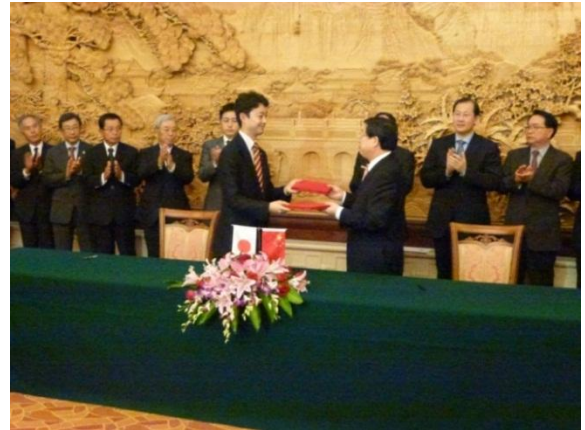


市長表敬訪問（於：天津市迎賓館）

＜「友好都市提携25周年 友好協力を促進するに係る覚書」調印＞

これまでの友好親善交流に加え、この度、経済分野において覚書を交わし、本格的な経済交流の第一歩を踏み出した。

公式訪問団の金綱副団長は、25年前、天津市で行われた友好都市締結の調印式にも列席している。



覚書の調印

【第4日目】 10月27日（木）

午前 ○天津市案内による視察

＜天津市都市計画館＞



都市計画館のジオラマ

- ・天津市全体の都市計画について概要説明を受けた。
- ・天津の都市計画館においてもジオラマやパネルを使用して展示を施し、開発計画の全体像を的確に示している。
- ・天津市は市全体の開発規模が非常に大きく都市計画に勢いを感じた。

＜濱海新区＞

・天津経済技術開発区（TEDA）

TEDA：Tianjin Economic-Technological Development Area とは、1984年に中央政府によって認定された国家級開発区。6区に分かれ、それぞれの区で特色ある産業集積を図っている。

74か国 4,600社余りの企業が進出、日本企業も2009年現在411社（トヨタ自動車、ヤマハ、大塚製薬、ヤクルト他）が進出している。

- ・基幹産業は、電子、自動車・機械製造、バイオ・医薬、食品飲料、設備製造、航空宇宙、新エネルギー・新素材、石油・化学、近代的サービスの9つ
- ・日本の投資額は、3番目に多く、生産高、税額はトップ



TEDA 管理委員会

・イオンモール天津 TEDA 店

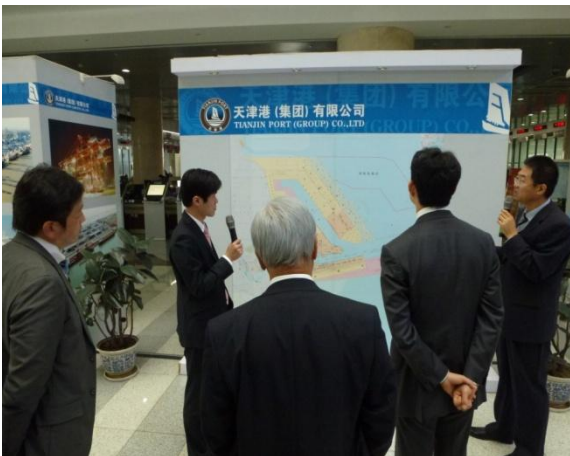
・天津市進出第 1 号店（2010 年 9 月オープン）となるイオン TEDA 店を視察



イオン天津 TEDA 店内

- ・客層は中から上で割合裕福とのこと。日本人客は少ない。
- ・午後 4 時半から 5 時以降の来客が多い。
- ・商圈：TEDA 7~80 万人、エコシティ（10 キロ先 数年後には 35 万人規模のエリア）
- ・2 号店は、天津市の西に 2012 年 4 月にオープン予定。
- ・3 号店は、2013 年オープン予定。

・濱海新区港湾



濱海新区の港湾地区の説明

- ・濱海新区港湾は、海河が渤海湾に注ぐエリアにあり、さらに、新たな港湾を建設するために埋め立てを行っている。
- ・大型の旅客船が停泊可能なターミナルを擁し、世界中から旅客船を受け入れるとのこと。
- ・天津港から千葉港への旅客船クルーズの可能性が考えられる。

【第 5 日目】 10 月 28 日（金）

午前 天津市

＜天津市人民代表大会常務委員会主任表敬訪問＞

迎賓館において、小川市議会議長が肖懐遠主任を表敬訪問。



天津市人民代表常務委員会主任表敬訪問

肖主任から、歓迎の挨拶と覚書の調印により、今後の両市の経済交流における連携体制の強化が図られたとのことをお話をいただいた。

小川議長からは、今回の訪問に際し、手厚く歓迎を受けたこと、今までのスポーツ交流、文化交流に加えて経済交流の足がかりを得られたことへの謝意を述べた。

<天津市西青経済技術開発区訪問>



天津市西青経済技術開発区のプロジェク説明

この開発区は、1992年に天津市により開発が進められ、2010年に国家プロジェクトとして登録された。

計画総面積は150平方キロメートル。日系企業は100社を超え、優越した地理的位置、整った投資環境等国内でも注目される発展地域である。

この恵まれた環境に、下記の本市内企業が現地法人を立地した。

<本市内企業の現地法人 WRI ソリューション訪問>

- ・天津市との相互の企業進出支援の枠組みを活用して、本市内のIT企業が天津市に現地法人を設立。
今回が経済交流事業における初の海外進出ケースである。
- ・今後の発展が最も期待できる天津の新しい開発区、西青経済技術開発区に今年10月事務所を開設した。
- ・中国での炭鉱内の危険を回避するためのシステムを開発。現地での実用に向けた事業を進めている。
- ・法人設立、オフィス設置までには天津市からの多大なる協力があった。



WRIソリューションの開発中のシステム説明

午後 ○天津市から北京首都空港へ
夜 ○成田空港着 解散